

競技上の諸注意

- 1 競技は（公益財団法人）日本ソフトテニス連盟「ソフトテニスハンドブック」及び大会要項・大会出場規定に従って行う。マッチは7ゲームとする。ただし、天候などの状況により5ゲームとする場合もある。（委員長会議で決定する。）
- 2 コート割及び進行は別表のとおりとするが、本部の判断で変更をすることがあるので、放送には十分注意する。
- 3 規定のゼッケンを選手は背中に、監督及びコーチは左胸につける。
- 4 選手及び監督・コーチは、アンパイヤーの指示に従いマッチの開始から終了まで連続的にプレーする。
- 5 選手及び監督・コーチはお互いにマナーを尊重し、過度のかけ声または相手プレーヤーを挑発したり、不快にする言動はしない。
- 6 正審のコールの後からポイントが決定するまでの間、選手以外の発声及び拍手等による応援は禁止する。
- 7 マッチ中のコートにおいて
 - (1) 個人戦は監督及びコーチのベンチ入りを認める。ただし、2ペア以上出場している学校で追加監督（教員または外部指導者）の許可を得ている場合は、それぞれのペアに対し1名の監督及びコーチのベンチ入りを認める。
 - (2) 団体戦は監督及びコーチのベンチ入りを認める。
 - (3) ベンチは番号の若い方の選手を、サッカー場側とする。
 - (4) マッチ中の助言は、チェンジサイズ及びファイナルゲームに入る前に所定のベンチで行うことができる。ただし、前のゲーム終了から1分以内に次のゲームを開始する態勢に入るものとする。また、身体上の手当についても選手、監督・コーチともに認める。
- 8 異議の申し立ては、選手、監督・コーチともにできない。ただし、質問する事を妨げるものではない。
- 9 個人戦について
 - (1) トスは各マッチごとに、コート上で行う。
 - (2) マッチ開始前の呼び出しは原則として行わないので進行には十分注意し、前のマッチのが開始したら指定の選手集合場所に集合する。前のマッチの開始後5分経過しても集合しない場合は、集合の通告（放送）を行う。通告後5分経過で警告1回とし、10分経過で警告2回目とする。15分経過で失格とする。各コート第1試合については、8時15分までに指定の選手集合場所に集合する。
 - (3) 監督、コーチはコートへの入場時に、他のコートにおいて同校のペアがマッチ中のため入場できないときは、マッチ途中からのベンチ入りを認める。監督・コーチのベンチ入りは1マッチ1回のみとし、試合途中でベンチから出た場合、再びベンチに入ることは認めない。
 - (4) 監督はコート内では指定されたベンチに着席し、マッチ中の監督交代は認めない。
 - (5) 選手は監督・コーチの助言を受けるために、他のコートに移動してはいけない。
- 10 団体戦について
 - (1) 3ペアの点取り法による対抗戦とする。2回戦以降は2点先取とし、勝敗がついた時点で省略ゲームとする。
 - (2) マッチ開始前の呼び出しは原則として行わないので進行には十分注意し、対戦相手が決まり次第、速やかにオーダー票を指定場所に提出する。また時間が指定された場合はその時間内に提出する。
 - (3) 各コート第1試合は8時15分に指定の選手集合場所に集合する。1回戦各コート第2試合は、前の試合の3マッチ目の開始後に指定の選手集合場所に集合する。2回戦以降は対戦校が決まり次第オーダーを提出し、すみやかに指定の選手集合場所に集合する。オーダーが提出されない場合、選手集合場所に集合しない場合は、放送による通告を行う。通告後、5分経過で警告1回とし、10分経過で警告2回目とする。15分経過で失格とする。
 - (4) 1回戦のオーダーは8時00分までにオーダー提出所に提出する。
 - (5) トスは各マッチごとにコート上で開始前に行う。
 - (6) 大会運営上、2回戦から2面または3面に展開して行う。この時も、監督・コーチは1名とする。
 - (7) 選手及び監督・コーチは、コート内では指定されたベンチに着席する。ただし、ウォーミングアップのためにベンチの横で身体を動かす程度は認める。
- 11 監督会議後の選手変更は、個人戦エントリーにおいて監督会議後の急病・けがの場合の1名に限り当日の8：00までに書面で各都県委員長が競技委員長に提出し、承認を得る。